守谷市教育委員会定例会 令和5年6月

1 日 時 令和5年6月26日(月) 午後1時30分～午後1時59分

2 場 所 守谷市黒内小学校 会議室1

3 出席者 教育長 町田 香
 教育長職務代理者 河原 健
 教育委員 萩谷 直美
 教育委員 椎名 和良
 教育委員 寺田 弘

4 欠席者 なし

5 説明のための出席者
 教育部長 小林 伸稔
 教育部次長兼生涯学習課長 福島 晶子
 学校教育課長 前川 優子
 教育指導課長 直井 健治
 給食センター長 鈴木 林
 中央図書館長 平塚 恭子

6 傍聴人 なし

1	開会宣言	教育長	午後1時30分 開会を宣言
2	会議録署名委員の指名	教育長	会議録署名人に河原委員を指名する。
3	議決事項	教育長	議案第37号「議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について」は公表前の情報に関する案件であるため、非公開としたい。
		各委員	異議なし

4 報告事項	教育長	<p>議案第37号「議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について」について説明を求める。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第14条第7項及び守谷市教育委員会会議規則（昭和30年教委規則第3号）第13条に基づき審査経過は非公開とする。</p> <p>（生涯学習課長による説明）</p>
	教育長	<p>議案第37号「議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（守谷市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例）」について採決する。</p>
	採決結果	<p>全員賛成</p>
	教育長	<p>報告第7号「令和5年守谷市議会6月定例会月議会」について報告を求める。</p>
	教育部長	<p>6月の定例会月議会に上程しました教育委員会所管の議案等の採択結果等について報告します。</p> <p>議案第46号「令和5年度守谷市一般会計補正予算（第3号）」については、歳出の公民館運営管理事業の高野公民館駐車場の土地の賃借料、整備工事を合わせて501万5000円の増額及び図書館運営管理事業の会計年度任用職員の報酬費146万4000円の増額を要求し、5月の定例教育委員会で承認いただいた内容と変更なく議決を得ました。</p> <p>次に議案第50号「工事請負契約の締結」につ</p>

いては、教育委員会所管の御所ヶ丘小学校屋内運動場改修工事の工事請負契約の締結で、追加議案として上程されたものですが、賛成多数で可決されました。

次に市政に関する一般質問への対応です。今回は、12名の議員から一般質問の通告があり、そのうち5名の議員から教育委員会に関する質問がありました。

1番、青木議員からは「心のふるさと」及び「ふるさと守谷音頭」に関して、昔は学校の運動会や地域の夏祭りなどで、子どもたちがふるさと守谷音頭を踊っていたが、今後学校で教育の一つとして教えることはないのか、という質問に対して、現在一部の学校で給食の時間に心のふるさとを放送したり、郷土学習の授業で活用しており、今後、全校でどのように活用できるか検討したいと回答しました。

6番、高梨（恭子）議員からは、小中学校の熱中症対策についての質問があり、熱中症を未然に防ぐための各学校での取組や、熱中症警戒アラートが発表された場合の学校での対応などを説明しました。

さらに、大規模改修の際に体育館で新設している冷水器を、全校の体育館に早期に設置するよう要望があり、計画的に整備したいと回答しました。

また、来年夏から運用が始まる熱中症特別警戒アラートについて、熱中症警戒アラートよりも深刻な健康被害が予測されるため、市の対応方針を早めに決めるよう要望がありました。

続きまして、8番首藤議員からは、学校間のタブレット活用状況の格差とセキュリティ対策の課題及び改善策について質問があり、全校で学習支援ツール等を導入して、授業や家庭学習で積極的に活用していることや、セキュリティソフト等を利用して、情報リテラシー教育を進めていると

	<p>回答しました。また、校則の現状についての質問と、保護者の経済的負担軽減を図るためのランドセルをリュックにできないかなどの要望があり、全中学校で、校則の見直し検討委員会による生徒主体の見直しが行われていることを説明したほか、教育長からランドセルは指定品ではなく、リュックも選択できると回答しました。</p> <p>10番の高梨（隆）議員からは、小中学校の水泳の授業に関する質問があり、設備の老朽化によって、今年度から全校で公営や民間のプールを使用している状況と、学校プールの維持より民間プール利用の方がコストも安く、天候に左右されない計画的な授業が計画できるため、現時点では学校プールの修繕を行う予定はないと回答しました。</p> <p>最後に、11番田中議員からは、黒内小学校の過大規模化の対応について質問があり、今後、保護者や地域の方々へアンケート調査を行い、来年度から実施できる内容を今年の秋頃までに、令和7年度以降に実施する対応策を令和6年度中に答申いただく予定であることを説明し、地域の方、保護者の皆様に十分に配慮しながら多様な工夫や対策を行っていくことが必要と回答しました。</p> <p>報告は以上です。</p> <p>河原委員 校則とランドセル、どちらも規則に関係するものだが、校則の問題は周期的にマスコミが取り上げている傾向があり、かつては昭和の終わりから平成の初めの頃、教育批判という時代があり校則をもっと自由にしなければいけないのだという、そういう主張でマスコミが取り上げた。</p> <p>その後、平成の中頃ぐらいから、児童の権利条約を日本が批准した時期、校則反対運動とか、制服の自由化とか、高校であると、かなりそれで制服を自由化した部分もあるが、そういう時期があった。</p>
--	---

最近はブラック校則という言い方で取り上げている大学の先生とか、それに乗って報道されることが多いので、今回の議会で質問になったのかなと受け止めた。

学校生活のルールは時代の変遷に適合するように必要ないものを廃止したり、場合によっては新しく、例えばタブレットの扱いについての校則とか、逆にないといけないのではないかなというふうに自分は思ったりするが、廃止したり、新しくつくったり、改修したりというのは当然のことで、これを校長先生たちに言って、やればいいのかではと思っている。

基本的に、3年に1回ぐらいは校則を見直すルールをつくっておくと、制服を変えたいからや、保護者からこういう要望があったから、検討委員会を開くのではなくて、3年に1回ぐらい、必ず検討委員会を開いて見直すというルールをつくっておくと、いろいろな対応がしやすいのかなというふうに経験上思っている。

3年に1回というのは、中学生が入学してから卒業するまでの間に、1回は検討委員会が開かれるということで、何かあったときに、要望があったときに、実際どのように検討して、こうなりました、次は何年に検討ですと、来年検討会が開かれますので、それまでは今のルールで我慢してくださいとか、対応もしやすいのかなというふうに思う。

ランドセルについては、小学生のランドセルは、私は日本の定着した文化となっていると思う。例えば、おじいちゃんかおばあちゃんが買い与えたりして、ファミリーとして小学校に入ることを祝うという、それにランドセルをつけてやるというふうな意見で、ランドセルを否定する必要は無く、だからと言ってランドセルでなくてもいいと議会で回答しているのは、結構だと思う。

一方で、学校で使うもの、学校で制定した制服

<p style="text-align: center;">閉会宣言</p> <p style="text-align: right;">教育長</p>	<p>とかそういったものは、できるだけ公費で賄えるようにするであるとか、リサイクルの仕組みを上手につくって循環できるようにするとか、就学援助制度だとかそういったもので、カバーできる補助制度はきちんとつくる必要があると思う。</p> <p>次回の定例会の日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和5年7月25日（火曜日） 午後1時30分～ ・場所 守谷市役所 全員協議会室 <p>午後1時59分閉会を宣言</p>

<p style="text-align: center;">会議録署名人</p>	<p style="text-align: center;">河原 健</p>
---	---